

令和7年1月分 四日市港 貿易概況（速報）の要旨

令和7年1月分について、輸出額は「自動車」などが増加したものの、「石油製品」、「電気回路等の機器」などが減少したことから、対前年同月比5.3%の減少となった。また、輸入額は「液化石油ガス」などが減少したものの、「原油及び粗油」、「液化天然ガス」などが増加したことから、同10.6%の増加となった。

その結果、差引額は1,250億円（同24.5%の増加）の輸入超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
四日市港	833億円	▲5.3%	2,083億円	+10.6%	▲1,250億円	+24.5%
	6カ月連続の減少		4カ月ぶりの増加			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 自動車	158億円	+58.4%	輸入	増加品目	(1) 原油及び粗油	1,166億円	+17.7%
		(2) 映像機器	28億円	+317.6%			(2) 液化天然ガス	409億円	+31.9%
		(3) 電気計測機器	18億円	+50.4%			(3) 自動車	74億円	35倍
	減少品目	(1) 石油製品	55億円	▲56.0%		減少品目	(1) 液化石油ガス	38億円	▲64.2%
		(2) 電気回路等の機器	57億円	▲14.9%			(2) 石油製品	59億円	▲39.9%
		(3) 自動車の部分品	62億円	▲13.1%			(3) 石炭	20億円	▲57.6%
	地域別動向					地域別動向		中東、大洋州が増加、北米は減少	

（参考）ドルレートは、157.20円（前年同月比9.2%、13.25円の円安）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。

注）本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。